



宮崎県

みまた



表紙写真／旭ヶ丘運動公園陸上競技場(全天候型)整備

こんにちは

# 議会です。

よい人、よい町、よい政治。議員が編集した手づくり広報紙

95  
2019.5.15

発行／三股町議会

- ・議会の新体制決まる
- ・3月定例会(2月27日～3月19日)
- ・町政を問う 一般質問(7名)
- ・第1回「語ってみる会」(意見交換会)報告



5月  
臨時議会

# 議会の新体制決まる

4月21日三股町議会議員選挙が行われ、12人の新議員が誕生しました。当選後、初の議会となる臨時議会が5月8日に開催され、議長、副議長及び監査委員の選挙が行われ、議会内の新体制が決まりました。また、議会運営委員会委員及び各常任委員会委員も新たに決まりました。

## 新しい議長に重久邦仁議員が就任



重久邦仁 議長

この度、議員各位のご推挙により議長に就任いたしました。まことに身に余る光栄であり、職責の重さを痛感し、身の引き締まる思いであります。心より御礼申し上げます。また、国の進める地方分権・地方創生が進む中、いよいよ地方議会の真の政治力が問われている時と考えます。今後も町民の負託に応えられるよう、議会改革についても、さらに積極的に取り組み、進めていきたいと考えています。



楠原更三 副議長

現在、地方議会のあり方が問われています。ここ4回の町議選の投票率の推移を見ますと、本町においても、現状に深刻に取り組まなければならぬのではないかと感じていきます。そのための一つとして、議会をより開かれたものにする必要があると考えます。今以上に、議会に興味関心を持つてもらえるには、どのようなことが必要なのか、議長と共に議会として取り組んで参ります。

### 議会運営委員会

議会運営に関すること、議会の諸規則に関すること、議長の諮問に関するについて審議または協議します。

- 委員長 池邊美紀
- 副委員長 福田新一
- 委員 上西祐子
- 委員 内村立吉
- 委員 堀内義郎
- 委員 堀内和義

### 一般会計予算・決算常任委員会

一般会計の予算及び決算に関することを審査します。

- 委員長 堀内義郎
- 副委員長 新坂哲雄
- 委員 山中則夫
- 委員 上西祐子
- 委員 指宿秋廣
- 委員 内村立吉
- 委員 池邊美紀
- 委員 福田新一
- 委員 楠原更三
- 委員 堀内和義
- 委員 田中光子

### 広報編集常任委員会

議会広報紙の編集及び発行に関することを担います。

- 委員長 堀内和義
- 副委員長 田中光子
- 委員 楠原更三
- 委員 新坂哲雄

### 文教厚生常任委員会

福祉課、高齢者支援課、町民保健課及び教育委員会の所管に属する事項を審査します。



副委員長  
田中光子

介護現場で培った経験をもとに、皆様が生きがいを持って暮らせる町づくりの実現の為に、お一人お一人の声を耳を傾けて、地域の課題解決に取り組んで参ります。



委員長  
福田新一

お陰様で再度皆様から町づくりの負託を受けられました。感謝とともに、心新たに議会の本質を理解し、緊張感とスピード感を持って町民の声を町政に反映させていきます。



委員  
堀内義郎

初心を忘れずに二元代表制としての責任を果たすため、議会活動に全身全霊で取り組みます。「いいね三股！」と言えるよう町政発展に努めて参ります。



委員  
指宿秋廣

町の人口が、増加から減少へと推移することが考えられることから、大変重要な4年の任期だと自覚して、議会の場での意思表示をはっきりし説明責任を果たします。



委員  
楠原更三

多数のご支援ありがとうございました。心新たにこれまで以上に視野を広くして三股再発見を行い、多くの方々々にそれを周知できるように取り組んで参ります。



委員  
池邊美紀

「ふるさとの笑顔のために」3期目の議員を頑張っていきます。若者が躍動する地域づくり、三股町の産業活性化と、町民の福祉の向上を目指してまいります。

### 総務産業常任委員会

総務課、企画商工課、税務財政課、都市整備課、農業振興課、環境水道課、会計課、議会事務局、選挙管理委員会及び農業委員会の所管に関する事項並びに他の常任委員会の所管に属さない事項を審査します。



副委員長  
堀内和義

初挑戦でしたが、大勢の方のご支援を頂き、光栄と責任の重さを感じております。皆様の負託に応えられるよう地域活性化、三股町発展に情熱をもって努めます。



委員長  
内村立吉

首長と議会の二元代表制の中に、議員としての責任の重さを感じます。町政は、町民の為であり、皆様の代弁者としての立場を貫き、町政発展の為、議員活動をして参ります。



委員  
上西祐子

くらし、経済を壊す消費税10%増税の中止を目指し、高齢者、子ども達、女性の視点で暮らしを見つめ、安心して暮らせる町づくりの為、がんばる決意です。



委員  
山中則夫

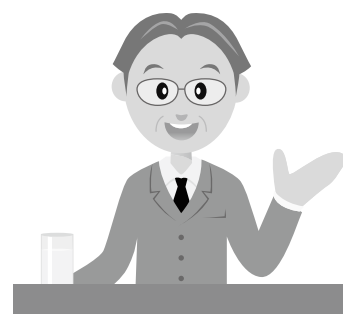
今回、8期目の当選をさせていただき、誠にありがとうございます。これからも、私の政治信条であります「町政は町民の為にあり」を目標に頑張って参ります。

(議会選出監査委員)



委員  
新坂哲雄

2期目です。人口減少社会における地域経済の活性化、安心な暮らし、福祉の充実、働く人の声を代弁し行政に届ける町政改革に訴えていきます。

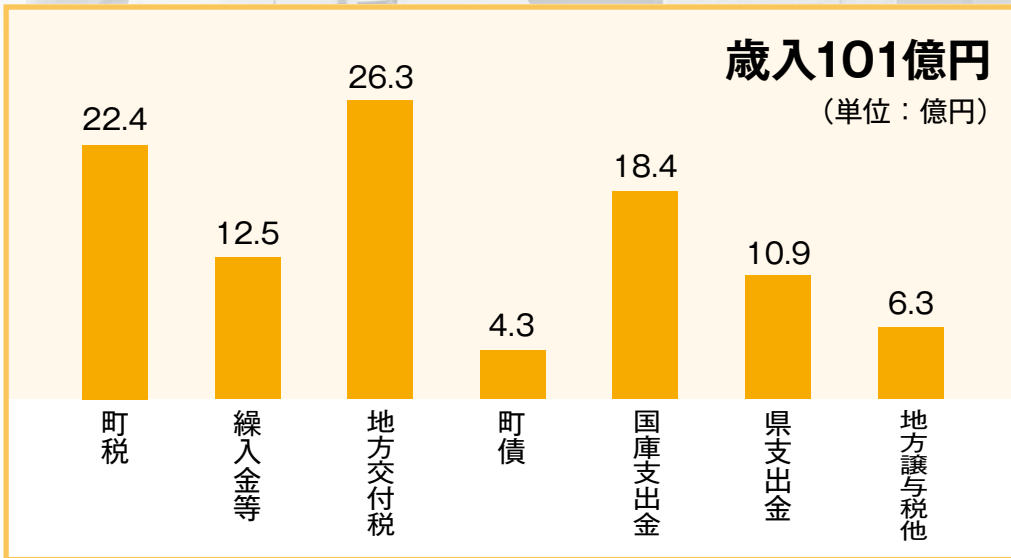


# 平成31年度予算 一般会計101億円

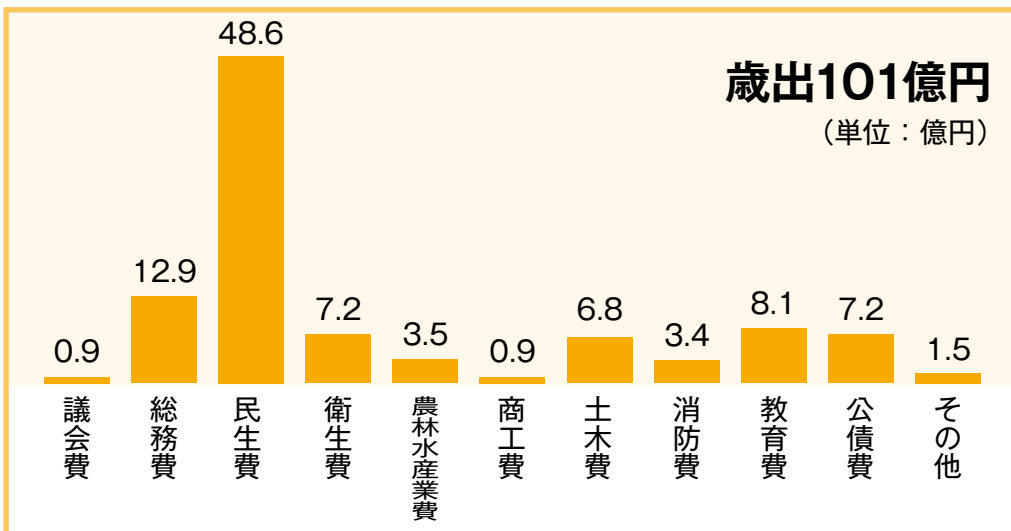
## 可決

### 3月定例会

町議会では、3月定例会を2月27日から3月19日までの21日間開催しました。今回議会上程された議案は、一般会計をはじめ、7つの特別会計及び水道事業会計の平成31年度予算を中心に条例の制定・改正など34議案が提出され審議の結果全て可決しました。なお、他に諮問1件、意見書1件、議員発議1件も審議のうえ可決しました。



※グラフは四捨五入のため実際の数字と一致しない場合があります。



### 3月定例会

2月27日	開会・提案
2月28日～3月5日	議案熟読
3月6日	一般質問
3月7日	一般質問
3月8日	総括質疑
3月11日～3月18日	常任委員会審議
3月19日	採決・閉会

傍聴頂きありがとうございました。  
傍聴者数………26人  
お気軽に傍聴にお越しください。




# 新年度予算 特別会計・企業会計

国民健康保険事業会計	29億4668万円
後期高齢者医療保険	2億7939万円
介護保険	22億9388万円
介護保険サービス事業	1856万円
梶山地区農業集落排水事業	4407万円
宮村南部地区農業集落排水事業	3759万円
公共下水道事業	9億4524万円
水道事業（収益的収入）	4億2628万円

※金額は四捨五入で掲載しております。



## 6月議会は 6月7日開催予定です!

 榎畑 美余子 氏 (再任)	▼適任と可決 人権擁護委員の推薦	 屋敷 和久 氏 (再任)	▼同意と可決 教育委員会委員	 石崎 敬三 氏 (新任)	▼同意と可決 教育長 人事案件
---	---------------------	--	-------------------	---	-----------------------

## 平成31年第1回3月定例会 表決結果

◎は賛成 ○は反対 一は欠席 ※議長は可否同数の場合を除き、表決には加わりません。

議案番号	議案名	結果	森 正 太 郎	楠 原 更 三	福 田 新 一	池 邊 美 紀	堀 内 義 郎	内 村 立 吉	福 永 廣 文	指 宿 秋 廣	重 久 邦 仁	池 田 克 子	山 中 則 夫
19号	平成31年度三股町一般会計予算	可決	○	◎	◎	/	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

※34号教育委員会教育長の任命については、無記名投票の結果賛成多数となりました。  
 上記以外の議案第1号から第18号、第20号から第33号、諮問1号、意見書案1号、発議1号については、全会一致のため未記載としております。



# ここが聞きたい

## 一般質問とは

議員個人が町の事務の執行の状況や将来に対する考え方などの報告や説明を町長などに求め町が町民のために適切な町政運営を進めているかを議員がチェックするものです。

### 内村 立吉議員 …………… 7p 掲載

- ①三股町文化の祭典の今後は
- ②農地に関する問題
- ③畜産に関する問題

### 楠原 更三議員 …………… 8p 掲載

- ①町史にかけた思いは
- ②梶山城跡調査整備検討委員会とは
- ③軽度生活支援の実状
- ④自治公民館加入率向上策は

### 池田 克子議員 …………… 9p 掲載

- ①地区防災計画で住民の命を守れ
- ②持続可能な開発目標を

### 堀内 義郎議員 …………… 10p 掲載

- ①「えごま」の特産品化は
- ②農業施策を

### 福田 新一議員 …………… 11p 掲載

- ①各イベントの経済効果は
- ②民泊利用の促進を図る
- ③本町独自の介護士育成システムを
- ④南海トラフ巨大地震と配水管路
- ⑤給食の食生活改善と地産地消を

### 森 正太郎議員 …………… 12p 掲載

- ①「空き土地ありき」の利用では
- ②旭ヶ丘運動公園について
- ③まち・ひと・しごと情報交流センター「あつまい」について

### 指宿 秋廣議員 …………… 13p 掲載

- ①新馬場近隣公園に駐車場を
- ②戦争の史跡を啓発すべきでは
- ③消防団詰所の早急な移設を
- ④交流拠点施設用の基金の意味は

# 3月議会一般質問

## お詫び

前号94号の福田議員の一般質問掲載記事の中で、韓国の建国大学が「平成31年から3年連続」と記載がありましたが、正しくは、「平成31年まで」の誤りでした。訂正してお詫び致します。



# 内村 立吉 議員

質  
問

## 三股町文化の祭典の今後は

教育長

## 多くの町民参加の文化の祭典に

問

平成30年度三股町文化の祭典が2月9日～10日に、第一部で童謡まつり、第二部で文化芸能まつり、第三部で元氣まつりが行われた。参加者は前年比でどうだったか。

**教育長** 今年度で19回目を迎え、昨年の延べ1500人を上回る延べ2300人が訪れ、大変素晴らしい祭典であった。

問

文化の祭典の今後は。

**教育長** 来年は20回目を迎え、さらに多くの町民が参加でき、また来場してもらえ文化の祭典となるように検討していきたい。

問

三股町文化の祭典は、音楽の祭典でもある。音楽の芸術とは「音による時間の表現者、鑑賞者が相互に作用し合うことで、精神的、感覚的な変」とある。  
本町に新たな高齢者支援課が設けられた。高齢者を支援するためにも、今まで以上にこのような場を提供することが必要ではないか。

**町長** 来年20回目という節目を迎える。今後も充実した祭典となるよう継続、発展させる。

農地に関する問題

問

農林水産大臣から、農地転用の許可権限を市町村に与える措置は。

**町長** 法改正により4haを超える農地転用の権限を農林水産大臣が示す指定基準を満たしていると認めた指定市町村にも都道府県と同様の権限を委譲することができるとしている。本町としては、農業委員会と農地転用許可権限委譲について検討することも必要と考える。

問

本町の荒廃農地、未相続農地の状況は。

**農業振興課長** 荒廃農地は2haで、再生可能な農地は0.4haである。未相続農地は、平成27年度数値で244名、総面積77.3haである。

問

未相続農地はどうにもならないのか。

**農業振興課長** 未相続農地については、相続管理人を代理人とし、農地の流動化を図っている。

畜産に関する問題

問

牛白血病の状況では、県内3市場で牛白血病の自主検査をクリアして全国での有利な販売につなげているが、都城市場は検査を行わないのか。

**農業振興課長** 2010年から2011年に行われた全国牛白血病感染率は、乳牛が40.9%で、肉用牛が28.7%と年々増加状況にある。都市・三股町では県内の対策事例を参考に検討した上で決定する。

問

県内3市場で牛白血病自主検査に取り組んでいる。宮崎牛として県内統一検査を提案できないか。

**農業振興課長** 検査を統一することは必要である。県内で実施されている対策の問題点を解決し、適した対策を講じていく。



# 楠原 更三議員



質問

町史にかけた思いは

町長

未来への贈り物

問

町制施行70周年事業の目玉の一つであった町史にかけた思いには、どのようなものがあったか。

町長

町史は、先人たちの努力の足跡であり、未来への贈り物である。今後のまちづくり・地域づくりの指南書として、大いに町民に活用されることを期待する。

問

町史の予約状況とこれまでの周知状況など。

教育課長

良い町史ができた。多くの皆さんに読んでほしい。予約は3月5日現在で124セット。70周年式典での報告、また回覧や町広報にこれまで数回掲載するなど、周知を図った。発行部数は1000セット、100セット程度を町内外の関係機関に寄贈。販売価格は、近隣自治体史の価格なども参考にした。

問

学校教育はもとより、生涯学習を通して郷土愛を育むための教材としての活用を期待したいが、今後の活用計画は。

教育課長

今回収集された史料の史料編や、町史の概略版の刊行を来年度以降に計画している。具体的な計画には至っていないが、生涯学習の取組として歴史講話などを検討したい。今後、梶山城跡の国指定や大規模な試掘調査などにも着手したい。

梶山城跡調査整備検討委員会とは

問

この委員会の具体的な目的・計画と構成メンバーは。

教育課長

城跡の保存状態を調査し、その評価を行うこと。年2回程程度の会議を開催し、2年程で報告書を作成する。メンバーは、中世の山城の専門家1名、文献史学の専門家2名、発掘指導1名を予定している。

軽度生活支援の実状

問

住民主体による買い物代行、調理、ゴミ出しなどの軽度生活支援の実状は。

福祉課長

在宅高齢者の要介護状態への進行を防止することを目的として、日常生活に支援が必要な高齢者等に支援員を派遣し、軽易な支援を行う事業。利用者数は、平成29年度までは10名前後で推移していたが、30年度からはいくつかの自治公民館等に委託したことから増加し、現在25名となっている。

問

超高齢社会となる2025年に、本町でこのような支援を必要とする人の予想数は。

福祉課長

要支援1及び2の人や介護予防支援を必要とする高齢者は、198人から229人に増加する見込み。

自治公民館加入率向上策は

問

地域福祉向上にとって、解決しなければならぬ地域課題の中に、自治公民館未加入問題がある。加入率を向上させる行政としての対処法は考えられないか。

町長

この問題については、館長会議でも話題になるが、自治で活動する組織なので、各自治公民館が自主的に取り組んでもらうのが町の立場である。それに対する相談を含めてバックアップは行う。



▲平成31年3月1日発行された三股町史





# 池田 克子 議員

質  
問

## 地区防災計画で住民の命を守れ

町  
長

## 防災組織の強化を図る

**町長** 地震・台風等の災害には、地域の中で自助・共助が重要だ。自治公民館を中心とした組織作りが大変重要である。防災士の研修を年一回しか実施していないので、今後、組織の強化を図りたい。

**問** 「地区防災計画」の策定には、防災リーダーが大変重要な役割を持つ。防災リーダーの養成を実現できないか。

**町長** 現在、各自治公民館の自主防災組織の組織化を推進している。全町での自主防災組織の取り組みに至っていないことから、地域への周知には至っていない。

**問** 昨年は全国で災害が頻発した。今、また、南海トラフ巨大地震など、次の大規模災害が近年起こりうる想定されている。「地域防災計画」は策定されているが、「地区防災計画」がないと被害を防げない。自主防災組織が機能しなければ、命を守れないという現実が浮き彫りになった。この「地区防災計画」は災害対策基本法の改正で平成26年4月に導入された。この「地区防災計画」を地域の自主防災組織へ周知されているか。

**問** SDGsの取り組みは2030年を目標としている。SDGsに取り組むことにより住民の生活の質を向上させ、地域創生の推進に貢献することになる。目標を文章化できないか。

**企画商工課長** SDGsが掲げる17のゴールは、現在取り組んでいる各施策との関連性もあり、役場内での情報共有を図り目標達成に向けた効果的な取り組みを行う。

**問** SDGsの達成に向けて、どう取り組んでいくのか。

**町長** 自治体が魅力あるまちづくりを進めていく上でも、重要な視点であると認識している。

**問** \*SDGs(エスディーズ)をどのようにとらえているか。

**町長** 各地域ごとに配置できるように防災士のリーダーを要請していく。持続可能な開発目標を

**問** 当町は、防災士の資格取得に補助するなど、大変力を入れていますが、その取得者を「地区防災計画」のメンバーとして協力を請うべきではないか。

**町長** 31年度から総合計画の見直しを行う。SDGsの17の目標を視野に入れながら策定する。

\*SDGs(エスディーズ)「持続可能な開発目標」は、2015年国連で採択され、2016年日本では、内閣に推進本部が設置された。「誰も置き去りにしない」との理念の下、17の目標が設定された。①貧困をなくそう②すべての人に健康と福祉を③住み続けられるまちづくりを…等々である。



# 堀内 義郎 議員



質  
問

「えごま」の特産品化は

企画  
商工課長

生産者の情熱と努力が一番重要

**問** 特産品の現状と、「えごま」の特産品化に取組みたいところがあるがどう思うか。

**企画商工課長** 現状としてどぶろくの製造販売、どぶろく麴に漬け込んだ牛肉や豚肉、お菓子など製造販売されており、「どぶろく特区の町」として根付いてきている。

更に、バイオ茶ポークやプチヴェールやごまの茎葉を粉末に加工し、利用した特産品開発にも取り組んでいる。「えごま」については気候や土壌、特産品化出来るまで課題が多く、これらを一つひとつ検証していく必要がある、生産者の情熱と努力が一番重要である。

**問** 六次産業化の本町の認定件数は。

**企画商工課長** しも農園1件である。

**問** 特産品化・六次産業化を更に進めるため、加工施設の設置や貸し出し、販路施設についての支援は出来ないか。

**企画商工課長** 「みまた地域ブランド発進事業補助金」を創設しており、町産の地域資源を活用した地域性の高い新商品の開発、発信等を目的とした事業に対し、経費の一部を助成し支援するものである。

平成28年度からの実施であり、初年度が4件、昨年度が2件、本年度

が3件の事業を採択している。また、商品化や販路開拓に至っていないものがあり、アドバイザーやセミナーを受けられるよう支援体制を構築し、フォローアップを図っていききたい。

又、「六次産業化法」の認定を受けると施設や機械等の整備に対しても、補助率1/2、上限額500万円までの支援を受けることが出来る。



▲30年度「みまた地域ブランド発進事業補助金」を活用し開発されたパッケージ

農業施策を

**問** \*TPP11と\*EPAの発効により、本町への農林業への影響が危惧され、対策を講じたいとの事であったが具体策は。

**町長** 今後、率の引き下げや撤廃に至るまで段階的であり、直接的な影響を実感できるまでには至っておらず、今のところ国、県において具体的な対策は示されていない。示された段階において具体的な対策を講じたい。

**問** 産官学民連携の取組みや「\*スマート農業」を推進するべきではないか。

**農業振興課長** 包括連携協定の一環として南九州大学と連携し「六次産業化戦略作物営農定着化推進事業」を活用し、プチヴェール、ゴマの生産基盤強化及び特性を調べる調査研究に取組んでいる。本町ではICTを活用した子牛の生産率向上と分娩事故の軽減に取組む予算として「畜産生産性向上事業」に新たに「繁殖牛監視装置整備支援事業」を盛り込んだ。

※TPP11：米国を除く11カ国による環太平洋経済連携協定の通称。

※EPA：欧州連合経済連携協定

※スマート農業：ロボット技術や情報通信技術（ICT）を活用して、省力化・精密化や高品質生産を実現する等を推進している新たな農業のこと



# 福田 新一 議員



質  
問

## 各イベントの経済効果は

町  
長

## 定着が将来の経済効果に繋がる



▲過去最高の売上げとなった昨年の「モノづくりフェア」

問

様々なイベントの開催は、町経済の活性化に繋がっているのか。

**町長** みまたん霧島パノラマまらそん、モノづくりフェア、まちドラに、運動公園を利用したスポーツキャンプを加えた4つの事業は「行きたい、住みたい『みまた』をつくる」目標を達成するための事業。これらの事業を定着させる事により、将来的には経済効果が表れる。

**教育課長** スポーツポータルサイト「ランネット」では、1月に開催された全国のハーフマラソンの部でランキング1位と格付け。同時開催の「よかもん朝市」は、107万円と過去最高の売上げであった。

**企画商工課長** モノづくりフェアの方も、第6回目、年々出展者と来場者が増え、今回、会場全体売上げが、約1320万円と過去最高の売上げとなる。経済効果も高くなっている。

民泊利用の促進を図る

問

「三股には、泊まるところがない」というのが、次のステップに入れない大きな壁に思える。この宿泊問題に民泊制を活かせないか。

**企画商工課長** 現在、民泊サービスの届出が本町は、2件。まだ日が浅く周知も行き届いてない。今後、口コミやPR等によって利用者が増える。春祭り、各イベントの度に、PRを行う民泊利用の促進を図って行く。

本町独自の介護士育成システムを

問

本町独自で介護福祉士を確保する手段として、県とリンクし、介護福祉士になるための費用を援助し、資格取得の後は、本町の介護従事者となるシステムはどうか。

**福祉課長** 宮崎県社会福祉協議会において介護福祉士修学資金等貸付制度があり三股町社会福祉協議会が窓口となっている。教育委員会が行っている奨学資金制度の利用も含め周知を図っていく。

**町長** 介護職の処遇改善を、重点的に努める。

南海トラフ巨大地震と配水管路

問

南海トラフ巨大地震を予測しての水道管保護や耐震対策はどうなっているのか。

**環境水道課長** 国の指針により災害時に重要な拠点となる病院や避難所を給水優先施設と位置付け、そこに至る配水管路を優先的に耐震対策を行っている。現在、五本松団地南側の町道に耐震管を布設している。

給食の食生活改善と地産地消を

問

本町給食の献立表は、ご飯とパンの割合が3対2となっている。基幹産業は農業である。ご飯に統一することはできないか。

**教育課長** 本町の給食センターは米飯施設がない。現在の委託業者で、週4回までは可能である。センター内に米飯施設をつくらなければ完全実施は難しい。

※ランネット：マラソン、ランニング、ジョギング、走る仲間のための情報を提供するサイト。

# 森 正太郎 議員



質  
問

「空き土地ありき」の利用では

町  
長

活用するために生み出した土地

問

五本松住宅跡地の利用について2月7日に行われた、商工会と議会の意見交換会において「必要になった施設をつくるのではなく、空き地ができるから何か作るのではないか」という声があったが。

町長 五本松団地の土地については、立地条件の良さ等から、あえて団地建替え用地とするのではなく、有効活用するために産み出した土地である。

旭ヶ丘運動公園について

問

アスレチック広場が立ち入り禁止になっているが、なぜ立ち入り禁止になっているのか。また今後どうするのか。

町長 平成30年9月の台風24号による樹木の倒木等により立ち入りが危険なため、立ち入り禁止とした。現在、31年度の予算も見込んで業者に処理を委託しており、完了次第開放の予定である。

都市整備課長 4月に委託契約の入札を行う予定である。

問

公園利用者にわかりやすく、なぜ立ち入り禁止になっているのか等の簡易の説明書きを設置してはどうか。

都市整備課長 早いうちに設置したい。

まち・ひと・しごと情報交流センター「あつまい」について

問 利用状況を問う。

企画商工課長 平成29年度は2932人。そのうち1階交流スペースの利用者が2883人、2階のコワーキングスペースの利用者が49人。平成30年度は1月までの利用者数で2562人、そのうち1階の利用者が2378人、2階が184人。2階の利用者数はセミナー等の開催により増加するものと予測している。

問

2階コワーキングスペースの利用について、セミナー等の貸しスペースとしての利用が増えているようだが、本来のコワーキングスペースとしての利用が広がらないのはなぜか。

企画商工課長 テレワークという働き方、あつまいという施設、両方の認知度が低いと考える。セミナー等を通して周知したい。

問

料金面も含め、仕事ができる利用しやすい施設にしている方向にはならないか。

企画商工課長 当初は比較対象が日南だけだったが、現在は小林などにも開設しているので、比較しながら検討したい。最終的には仕事ができる施設として活用したいが、現段階では認知を広めていきたい。



▲「あつまい」の2階コワーキングスペース

## 指宿 秋廣 議員



質  
問

### 新馬場近隣公園に駐車場を

都市整備課長

### 公園の趣旨を含め検討する

問

新馬場公園は、近隣公園と位置づけられて、利用範囲が500m以内と想定されている。  
利用者は近隣でも遠方でも自動車で公園へ訪れている。利用状況を踏まえて駐車場整備が必要ではないか。

都市整備課長

大規模な公園は駐車場を設けているが、近隣公園や街区公園は利用範囲を徒歩圏内と想定しており、駐車場は設置していない。  
利用者の要望があった駐車場整備はできなかったが、公園の南側および東側の側溝は整備した。県担当者と公園建設時の趣旨を踏まえて検討する。

戦争の史跡を啓発すべきでは

問

本町にも第二次世界大戦の記録を残す貴重な施設である都城東飛行場があった。  
特攻隊員がここから飛び立って尊い命を失った歴史があるが、この史実を広く啓発すべきではないか。

教育課長

戦争に関係ある史跡はあまり残されておらず、戦後70周年時には戦争関連のパネルしか展示できなかったが、戦争の記録や記憶が失われていく中で、史料を作成して伝え残すことは大切である。

消防団詰所の早急な移設を

問

第5地区消防団詰所は急傾斜地にあり、大変危険な場所に建っている。町長とも認識は一緒であり、早急な移設を行うと前の一般質問で答弁があったが、なぜ来年度予算では移設見送りの結論に至ったのか、その経緯を知らせるべきではないか。

町長

昨年9月の一般質問で、早急に対応すると答弁し現地で検討もしたが、消防団詰所と公民館分館を一体的に建設できないか再考を進め、複合施設として用地買収を再検討している。

交流拠点施設用の基金の意味は

問

平成30年度予算で基金を新たに3億円積み立てる予定であるが、どのような経緯であるのか。

税務財政課長

土地開発公社への貸付金は、今後大きな支出予定がないために、交流拠点施設を新たに設けて積み立てようとしている。

問

多額の基金を積み立てるが、規模はどう考えているのか。

町長

土地再生特別措置法で定められている立地適正化計画を作成し、補助金を申請してPFI方式を含めて検討し、コンパクトシティの一翼を担う施設整備を検討している。

問

土地再生特別措置法の趣旨は、集落を集約して情報化や医療・商業施設を中心地に集めて、行政効率を高めようとするもので、中心地以外の地域がますます過疎化になるような施策ではないか。

町長

少子高齢化も進み、それぞれの集落も限界集落になっている中で、それぞれの集落を大切にして、交通網や情報のネットワークを立地適正化の中に入れていく。



▲新馬場公園

- 開催日時 平成31年2月7日(木)午後6時～午後7時33分
- 開催場所 三股町総合福祉センター「元気の杜」大会議室
- 参加者 三股町商工会19名三股町議会議員12名



**作業2** テーマ「五本松団地跡地利用について、ご意見をお聞かせください。」(複数回答可)

主なご意見	件数
屋根付きイベント・交流広場 (サッカー・ソフトボールなどが可能)	29
子育て支援センター	3
物産館 (よかもんや移転を含む)	3
広大な公園・憩いの場	3
住宅地	3
その他	10
計	51



～商工会のみなさん、参加頂き、そしてたくさんのご意見ありがとうございました。～  
 私たち議員も、住民の皆さんがどう思っているのかを聞くことができました。このような形式で開催して、目的に少し近づくことができ良かったと感じています。同時に、改善すべき点もありますので、次回に向けて協議をしていきます。

議会では、議会活性化の取り組みの一つとして、町内で活動している各種団体との意見交換会を実施しています。意見交換会で様々な意見を伺い、議会内での議論につなげていきたいと考えています。お問い合わせは、町ホームページまたは、議会事務局 (TEL52-9310) まで

## (1)目的

- ①町の将来を一緒に考える。
- ②議会を開かれたものにする。
- ③親睦を深める。

## (2)実施方法

- ①作業1～ワークショップ(語り合い)形式  
テーマ「私の自慢する三股町は？」
- ②作業2～自由討議形式  
テーマ「五本松団地跡地利用について、  
ご意見をお聞かせください。」



## 作業1 テーマ「私の自慢する三股町は何？どこ？」

主なご意見	件数
住みやすい、人が優しい、災害が少ない、平坦な土地が広い	10
自然が豊か、水がおいしい	9
いろいろなイベントがある(モノづくりフェア・パノラマまらそんなど)	5
若い世代が多い、子育てしやすい、若者が元気、福祉が充実している	4
上米公園	3
長田峡など長田の自然	3
三股の文化・歴史	2
その他	5
計	41





# 三股中学校部活紹介

(平成31年3月現在)



硬式テニス部女子

私たちは、顧問の石井先生、外部コーチのご指導のもと、2年生7名、1年生6名の計13名で日々技術力・精神力の向上に励んでいます。

私たちは、「九州でベスト4に入る」という目標を掲げています。これまでに県秋季大会と県新人戦のいずれも優勝し2冠を達成しました。しかし私たちのゴールは、九州ベスト4ですので、まだこの結果に満足せず、毎日成長を求めて頑張っています。



バドミントン部

私たち三股中学校バドミントン部は、2年生19名、1年生28名の計47名で、顧問の齊藤規子先生、副顧問の出口弘一先生の熱心なご指導のもと、日々の練習に励んでいます。地区秋季大会では、地区大会で女子団体準優勝、県大会で男子団体優勝を収めました。個人でも、相葉洵之介さんが準優勝、松枝陽士さんが3位、中原海さん・鈴東大樹さんペアが優勝を収めています。学校内で部員が一番多く、とても元気で明るい部活です。現在は、夏の中体連で昨年の成績を少しでも超えられるように、チーム一丸と

なって一生懸命頑張っています。特に、これからの夏の時期は、体育館で窓を閉め切らないといけなないので、厳しい暑さの中での練習になります。しかし、支えてくださっているたくさんの方々からの応援にこたえられるように、感謝の気持ちを忘れず頑張っていきます。ご声援よろしくお祈いします。



平成31年3月議会は、4年の任期における最後の定例議会となりました。

◀三役と全議員



議会広報編集常任委員会

発行責任者 / 池邊美紀

- |      |       |
|------|-------|
| 委員   | 福永 廣文 |
| 副委員長 | 楠原 更三 |
| 委員   | 山中 則夫 |
| 委員   | 指宿 秋廣 |

五本松住宅跡地の議論で、コンパクトシティと身近に感じられない言葉がありました。派手なものを造り、その借金の返済と維持管理費など、過大な負担を後の世代に残すべきではありません。赤字再建団体になり、日常の生活に支障があつては絶対にいけません。

これからの課題が山積しています。二元代表制の一翼を担う町議会はますます重要になっていくと思います。その町議会も4年の任期が過ぎ、新たな議員へバトンタッチ致します。

議会広報委員会も町民の皆様には議論の様子を伝えられるように努めたつもりでしたが、いかがでしたか。これまでのご協力に感謝を込めて「ありがとうございます。これからもよろしくお祈い致します。」

(指宿)



## 編集後記